

## 魚沼地域版

魚沼市のみなさんへ



## せせらぎ

～清流のきらめく魚沼地域～

【配布市町村】魚沼市  
 【地域版の問い合わせ先】魚沼地域振興局企画振興部 〒946-0004 魚沼市大塚新田91-4  
 ☎025(792)1303 FAX025(792)6029 【E-mail】ngt111510@pref.niigata.lg.jp  
 【URL】http://www.pref.niigata.jp/chiikishinko/uonuma/  
 魚沼地域振興局の夜間休日緊急ダイヤル ☎025(792)1311 ※事故・災害などの緊急時にご連絡ください。



## あなたの匠を“地域”へ“未来”へ ～にいがた「なりわいの匠」認定事業～



中山間地域の自然を生かした  
 体験交流・都市農村交流の推進  
 特色ある地域づくりを目指して  
 県が平成18年度より開始した  
 『にいがた「なりわいの匠」認定事業』  
 についてご紹介します。



## 「なりわいの匠」とは？

農林漁業や農山漁村の生活等（＝なりわい）において培われた技能（＝タクミの技）を有し、その技能を伝承・指導することができる方をいいます。農林漁業体験・農林水産物加工体験・郷土文化体験・自然観察体験の4分野で県内493名の方が「なりわいの匠」の認定を受け各地域で活躍されています。（平成18年11月現在）

## ■認定されている技能の一例

農林漁業体験	米づくり、野菜づくり、肉牛の育て方、花づくり等
農林水産物加工体験	餅つき、漬物づくり、豆腐づくり、ジャムづくり、そば打ち等
郷土文化体験	お手玉遊び、雪遊び、昔話語り、方言、盆踊り、わら細工、押し花、ちまきづくり、保存食づくり等
自然観察体験	自然案内、生物観察、山菜採り等

## 魚沼の「なりわいの匠」をご紹介します

魚沼市内では、第1回の認定審査会において郷土文化体験の分野で28名の方が認定されました。

## ■工芸品製作

馬場久一さんはひょうたんの工芸品製作で認定されました。



自宅には数多くの作品が並びます

馬場さんは、ひょうたんの栽培から、収穫、絵付けまですべてをこなしています。手塩にかけて育てたひょうたんには、それぞれの形や大きさに見合った絵が描かれ、20年の熟練した技を感じさせます。

人とは違ったことに挑戦したいと始められたひょうたん作りですが、今ではその腕前を買われ地元の中学校で指導にあたっています。今後はひょうたんを栽培したいという方にも伝授していきたいとのこと。

## ■郷土料理

「湯之谷茶々の会」の11名の方は、山菜料理をはじめとする地元の食材での郷土料理づくりで認定されています。

魚沼に伝わる郷土料理を地域のイベント等で提供しています。また、他地域の料理グループとの交流で魚沼の食の魅力の発信に一役かっています。



他地域との交流会のようす



「なりわいの匠」のひとり、馬場久一さん

## ■郷土芸能

唄・演奏・踊りなど地域に伝わる伝統芸能活動をされている「小平尾民謡保存会」の16名の方も認定を受けています。

各種イベント等で披露したり、地域の小学生を対象に踊りの指導を行ったり、地域での伝承に貢献しています。



月2回の練習を重ねています

## あなたもぜひ「なりわいの匠」に！

## ■期待される効果は？

「なりわいの匠」の方々は、体験交流等の講師、地域の農業祭等イベントでの実演、農家民宿

経営者への指導や助言など、様々な形で活躍されています。

長年培ってきた技や地域に伝承されてきた知恵を発信することは、後継者の育成や、都市農村交流の促進につながります。



米づくりも伝えている技能のひとつです

## ■認定を受けるには？

申請は随時受け付け、8月と2月の年2回の認定審査を行っています。（対象者の要件や範囲が決まっています。）

興味のある方、制度について詳しく知りたい方は下記までご連絡をお願いします。

魚沼地域振興局農業振興部  
 企画振興課  
 ☎025-792-1309

## INFORMATION

## 地域からのお知らせコーナー



## 県から市町村に権限移譲を進めています！

平成19年4月1日に次の事務が魚沼市に移譲されました。

- 精神障害者保健福祉手帳に関する事務
- 公有地の拡大の推進に関する事務
- 刀剣類の製作承認事務 など

移譲に伴い担当窓口が魚沼市になります。詳しくは、魚沼地域振興局に設置のチラシまたは県ホームページ（「行政改革・情報公開」の中の「県から市町村への事務・権限の移譲」のページ）をご覧ください。県では、住民の皆さんの利便性の向上や市町村の自治権の強化などを図るために、市町村への権限移譲を進めており、今後も移譲する予定です。

行政改革推進室 ☎025-280-5079

## 定時制課程の幕を閉じて

小出高等学校定時制  
 教頭 清水 源一

昭和23年の創立以来、小出高校の歴史とともに歩んできた定時制課程が、平成19年3月末をもって58年間の歴史を閉じました。その間に1600余名の卒業生が巣立ち、地元小出郷をはじめ全国各地で活躍されています。

昨年10月に行われた定時制閉課程記念式典では、県教育委員会をはじめとする来賓各位をお迎えし、清新かつ心温まる雰囲気の中で行うことができました。記念事業実行委員会等でご尽力いただいた創立期の同窓生の皆様、一同に涙した「蛍の光」。昼働きながら夜学ぶ生活の苦勞、そして卒業の喜び。仕事

を終え僅かな灯を頼りに集った学舎こそ、青春の舞台だったの  
 でしょう。

閉課程記念誌で、全日制の前生徒会長五十嵐

さんは、「定時制の良き伝統と精神は、これからの全日制が受け継ぎ発展させたい。」と決意を語ってくれました。

長い間のご支援に感謝いたしますとともに、新しい小出高校の発展のために、変わらぬご支援をよろしくお願いたします。

